

沖縄 辺野古 米軍新基地 押しつけないで

沖縄県名護市辺野古への米軍新基地建設に向け、岸田政権は今年度中にも予定地に広がる軟弱地盤の改良工事に着手する計画です。

負担軽減のため？ なのに100年使える基地

辺野古の新基地は、「世界一危険」と言われる宜野湾市・普天間基地の「負担軽減」のための代替施設とされています。しかし新基地は耐用年数100年とも言われ、普天間基地になかった新たな機能も伴う一大軍事要塞化計画です。一方、基地建設予定地には震度1の地震でも崩壊すると言われる軟弱地盤が広がっており、工費が膨らんでいます。

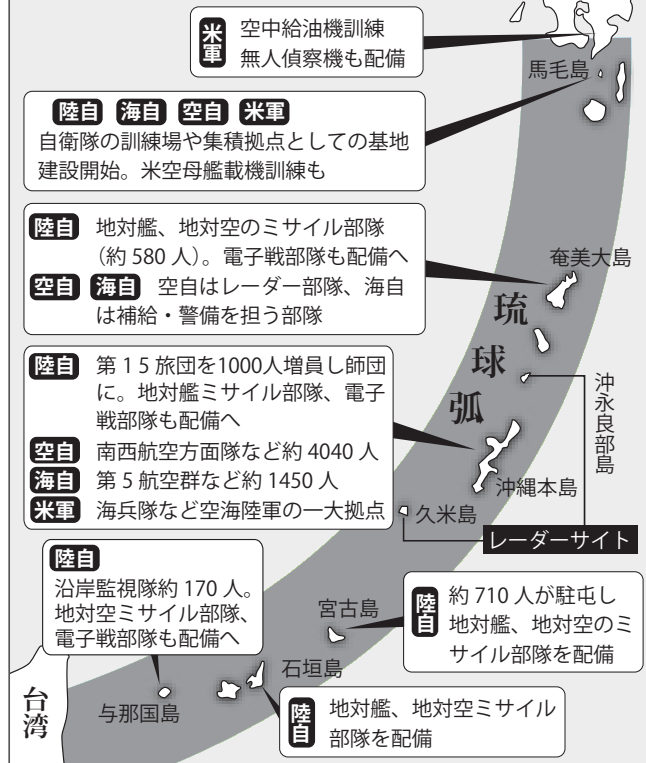
普天間基地の危険性除去のためには、米国政府に普天間基地の即時運用停止と撤去を求めることこそが最善の方法です。

基地断念求め署名56万

辺野古の新基地建設断念を求める請願署名55万9224人分が6月13日、国会に提出されました。署名を呼びかけたオール沖縄共同代表の稲嶺進さん（元名護市長）は、この問題は「民主主義と地方自治、国民主権のあり方を問う」と言います。民意を踏みにじる基地建設は、ただちに中止すべきです。

辺野古の新基地建設の強行に加え、政府はいま沖縄全体を米軍・自衛隊の軍事要塞にし、再び戦場にしようとしています。沖縄を戦場にさせないために日本政府がすべきなのは、基地増強ではありません。憲法9条の立場で外交に徹し、東アジアの対話の枠組み作りと非核化実現に力を注ぐことこそです。

米戦略に呼応して
琉球弧に配備されている自衛隊



「辺野古新基地建設工事の中止と普天間基地の無条件撤去を求める請願」署名にご協力を！

日本平和委員会

2023年7月発行

一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです

「平和新聞」(旬刊)、「平和運動」(月刊) 発行中

http://j-peace.org/ (t) (f)

